

「大嘗祭当日祭」 齋行 奉祝記帳所設置

令和元年11月14日

十一月十四日、宮中における「大嘗祭」を奉祝し、午前十時より御本宮にて「大嘗祭当日祭」を齋行いたしました。

大嘗祭とは、新たに即位された天皇陛下が、伊勢の神宮に御鎮座する皇祖・天照大神に対して、新穀からなる御飯・御酒などの神饌をお供えし、また、みずからも召し上がる一代一度の祭祀です。

古代より即位儀（現・即位礼正殿の儀）が執り行われた後の、十一月の二度目の卯日を祭日としており、この度の大嘗祭は、十一月十四日・十五日に執り行われました。

大嘗祭は、天皇陛下がその御代の最初に行う大規模な新嘗祭とされていて、例年の新嘗祭（十一月二十三日）は齋行されないことになっています。

当宮の「大嘗祭当日祭」は、大野氏子総代、牧山氏子総代、黒川崇敬者総代理をはじめとする大勢のご参列者をお迎えし、盛大且つ厳粛に執り行われました。

祭典中には、大嘗祭にゆかりある『讃岐風俗舞一具』が奏進され、多くの奉拝者とともに、大嘗祭を言祝ぎいたしました。

また、十月二十二日・十一月十四日両日には、御本宮前にて、奉祝の記帳所を設置、ご参拝の皆さまの御祝意は宮内庁を通じて、天皇陛下にお届けさせていただきました。





令和
特集

